

生誕百年 映画監督 今井正

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

生誕百年 映画監督 今井正(1)

Tadashi Imai Retrospective at his Centenary [Part1]

2012年 5月5日(土)祝—5月24日(木)

6月26日(火)—7月10日(火)

*「生誕百年 映画監督 今井正(2)」は、7月31日(火)から8月26日(日)までの開催となります。

電力事情など今後の状況により急遽スケジュールが変更される可能性があります。最新の情報は、当館ホームページ又はハローダイヤルにてご確認ください。

5-6月の休館日:

月曜日、6月18日(月)—6月25日(月)

*6月17日(日)は大ホールの上映はありません。

大ホール

開映後の入場はできません。

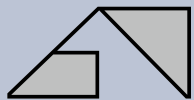
定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



1952-2012

60th Anniversary

東京国立近代美術館60周年を記念して、誕生日当日のご入場は無料となります(証明できるものをご提示ください)。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



2012

5

NFCカレンダー
2012年5月号

大ホール 上映作品

生誕百年
映画監督 今井正(1)
Tadashi Imai Retrospective
at his Centenary [Part 1]

本年は、黄金期の日本映画を代表する巨匠・今井正(1912-1991)の生誕百年を記念する年にあたります。1935年に京都のJ.O.スタジオに入社した今井は、1937年にJ.O.とP.C.L.など4社の合併で東宝映画が生まれると、助監督経験2年半という異例のスピードで監督昇進を果たし第1作『沼津兵学校』(完成は1939年)を発表します。朝鮮総督府後援の『望樓の決死隊』(1943年)は日本映画ばなれた活劇の演出が評判を呼び、戦後は民主主義の啓蒙をテーマにした『民衆の敵』(1946年)で第1回毎日映画コンクールの監督賞を受賞。その後も、ヒューマンイズムと社会性に富んだ作風で『青い山脈』(1949年)や『ひめゆりの塔』(1953年)などの大ヒット作、話題作を連発する一方、戦後日本の独立プロ運動を牽引しながら、「キネマ旬報」ベストワンの最多受賞監督として、ジャーナリズムの注目を一身に集めることとなります。

本企画では、この第1部と、7月31日から8月26日の第2部の2回に分けて、『沼津兵学校』から遺作となった1991年の『戦争と青春』まで、50年以上にわたるその足跡を回顧します。

皆様のご来場をお待ち申し上げます。

- 監修・演出 ㊟ = 原作・原案 ㊟ = 脚本・脚色
- 撮影 ㊟ = 美術・装置 ㊟ = 音楽 ㊟ = 出演
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

1 5/5(土)11:00am 5/15(火)7:00pm 7/1(日)2:00pm

沼津兵学校(81分・35mm・白黒)

入社から異例のスピード(2年半の助監督経験)での監督昇進第1作。1937年の秋から準備されたものの、兵学校生役の若手俳優が次々に召集されて、撮り直しや撮影中止が相次ぎ、完成までに2年近い歳月を要することとなった。公開当時の「キネマ旬報」評では「今井正の新人らしい真面目な努力」と評されている。

'39(東宝京都) ㊟今井正 ㊟片桐勝男 ㊟八木隆一郎 ㊟玉井正夫 ㊟伊藤宣二 ㊟黒川彌太郎 ㊟丸山定夫 ㊟大川平八郎 ㊟花井蘭子 ㊟鳥羽陽之助 ㊟藤尾純 ㊟深見泰三 ㊟坂内永三郎 ㊟大崎時一郎

2 5/19(土)3:00pm 6/29(金)7:00pm

多基古村(63分・35mm・白黒)

井伏鱒二の同名小説を映画化。多基古村の若い調査のときには毎日様々な事件が持ち込まれる。いざいざも都会では考えられないもので、無銭飲食や盗難などの比較的大きな事件でさえ、どこか呑気で愛嬌がある。今井監督自身は「原作者としては気に入らなかつたらしいですね。ぼくも完全な失敗作だと思っています」と述懐しているが、リアリズム演出の資質が示された作品でもある。

'40(東宝京都) ㊟今井正 ㊟井伏鱒二 ㊟八田尚之 ㊟三浦光雄 ㊟中谷智 ㊟服部正 ㊟清川莊司 ㊟深見泰三 ㊟大倉文雄 ㊟月田一郎 ㊟中村英雄 ㊟竹久千恵子 ㊟宇野重吉 ㊟瀧澤修 ㊟赤木蘭子

3 5/5(土)5:00pm 5/18(金)3:00pm 7/8(日)11:00am

望樓の決死隊(95分・16mm・白黒)

当時の朝鮮半島と満州の国境警備の重要性への喚起を目的とした、いわゆる時局映画。公開時の「映画旬報」評では「活劇的に処理されている」ことに好感が示され「方法と目的の一致が、この映画を成功させた最大の原因」と評価されている。今井監督の資質や作風が固まりつつあったことを確認することができる。

'43(東宝) ㊟今井正 ㊟山形雄策 ㊟八木隆一郎 ㊟鈴木博 ㊟松山崇 ㊟鈴木静一 ㊟高田稔 ㊟齋藤英雄 ㊟菅井一郎 ㊟清水将夫 ㊟鳥羽陽之助 ㊟浅田健三 ㊟佐山亮 ㊟木下陽 ㊟原節子

4 5/6(日)11:00am 5/17(木)7:00pm 7/6(金)3:00pm

怒りの海(87分・35mm・白黒)

ワシントン軍縮会議を米英による陰謀と強調した時局映画の一本だが、一方で「軍艦の父」と呼ばれた平賀譲中將を描いた伝記映画でもある。主人公を中心に多くの技術者の悪戦苦闘と軍艦建造への情熱を、記録画的に淡々と描く今井監督の演出方法は、戦後の実在の人物や実際の事件を扱う一連の作品に引き継がれている。

'44(東宝) ㊟今井正 ㊟山形雄策 ㊟八木沢武孝 ㊟小倉金弥 ㊟平川透微 ㊟山田和男 ㊟大河内伝次郎 ㊟原節子 ㊟小高たかし ㊟鈴木幸子 ㊟真木順 ㊟月田一郎 ㊟河津清三郎 ㊟黒川弥太郎 ㊟村田知英子 ㊟志村喬

5 5/12(土)2:30pm 5/24(木)3:00pm 7/7(土)11:00am

愛と誓ひ(74分・35mm・白黒)

当時の朝鮮半島の人々に特攻隊参加への機運を高めることを目的として製作された、時局映画の一本。京城の新聞社の局長(高田)の家に身を寄せることとなった浮浪児(金祐虎)が、特攻を志願した少尉(独銀麒)を紹介され、自身も後に続けたいとの思いを抱いていく。

'45(東宝=朝鮮映画社) ㊟今井正 ㊟崔寅奎 ㊟八木隆一郎 ㊟山崎一雄 ㊟高田稔 ㊟竹久千恵子 ㊟志村喬 ㊟独銀麒 ㊟金祐虎

6 5/6(日)5:00pm 5/22(火)3:00pm 6/28(木)7:00pm

民衆の敵(83分・16mm・白黒)

今井監督の戦後第1作。占領軍の民間情報教育局から撮るように会社が命じられていた民主主義映画の一本。ある軍需化学工場を舞台に、支配層であった財閥や軍閥の悪を、一人の徴用工の戦いを通して描き、戦前戦後を通じて変わらない支配層の存在が示されている。第1回毎日映画コンクールで監督賞を受賞。「キネマ旬報」ベストテン1位。

'46(東宝) ㊟今井正 ㊟八住利雄 ㊟山形雄策 ㊟鈴木博 ㊟松山崇 ㊟早坂文雄 ㊟藤田進 ㊟河野秋武 ㊟菅井一郎 ㊟志村喬 ㊟江川宇礼雄 ㊟鳥羽陽之助 ㊟清水将夫 ㊟田中春男 ㊟深見泰三 ㊟浅田健三

7 5/8(火)3:00pm 5/20(日)2:00pm 7/7(土)5:00pm

人生とんぼ返り(80分・35mm・白黒)

喜劇王として知られる榎本健一の、映画における芸域を広げようとして企画された「エンケン」のキャリアの中では実に珍しいリアス作品。一方、本作は撮影の中尾駿一郎にとっての第1作でもある。以後、今井監督とは、『小林多喜二』まで合計22本でコンビを組むこととなる。

'46(東宝) ㊟今井正 ㊟八木隆一郎 ㊟中尾駿一郎 ㊟川島泰三 ㊟服部正 ㊟榎本健一 ㊟河野秋子 ㊟江見渉 ㊟柳田貞一 ㊟英百合子 ㊟如月寛多 ㊟中村是好 ㊟鬼頭善一郎 ㊟清水将夫 ㊟松尾文人 ㊟入江たか子

8 5/8(火)6:00pm 5/19(土)11:00am 6/27(火)3:00pm

青い山脈(92分・35mm・白黒)

續青い山脈(82分・35mm・白黒)

石坂洋次郎の同名小説を映画化した最初の作品。転校してきた女子学生をこらしめるため、いたずらで出したラブレターが思わぬ事件に発展し、封建的な因習が残る地方の小都市は大騒ぎになる。戦後民主主義の理念であった自由恋愛や女性の自立、解放といった命題が、明朗で快活なユーモアのうちに描かれ、まさに新時代の到来を告げる作品となった。「キネマ旬報」ベストテン2位。

'49(東宝=藤本プロ) ㊟今井正 ㊟石坂洋次郎 ㊟井手俊郎 ㊟中村朝一 ㊟松山崇 ㊟服部良一 ㊟原節子 ㊟杉葉子 ㊟木暮実千代 ㊟池部良 ㊟伊豆肇 ㊟龍崎一郎 ㊟若山セツ子 ㊟山本和子 ㊟三島雅夫 ㊟田中榮三 ㊟藤原釜足

9 5/5(土)2:00pm 5/9(火)3:00pm 6/26(火)7:00pm

また逢う日まで(110分・35mm・白黒)

主演の岡田英次が今井監督に勧められたロマン・ロランの小説「ビエールとリュース」から、新進の水木洋子とベテランの八住利雄が脚本を執筆、回想とナレーションを巧みに用いつつ、戦時下のある青春の悲劇が描かれる。恋人たちの「ガラス越しの接吻」は観客に強い印象を残した。「キネマ旬報」ベストテン1位。

'50(東宝) ㊟今井正 ㊟水木洋子 ㊟八住利雄 ㊟中尾駿一郎 ㊟河東安英 ㊟大木正夫 ㊟岡田英次 ㊟久我美子 ㊟瀧澤修 ㊟河野秋武 ㊟風見章子 ㊟杉村春子 ㊟林孝一 ㊟芥川比呂志 ㊟大泉滉 ㊟近藤宏 ㊟南美江

10 5/9(火)7:00pm 5/20(日)11:00am 6/29(金)3:00pm

どっこい生きてる(102分・35mm・白黒)

東宝争議終結後の独立プロ運動の一つの拠点として1950年に設立された新星映画社の第2作。劇団前進座との提携作品でもあった本作の製作資金は、前進座の移動公演先で株主を募集して用意された。職安に頼る日雇い労働者の一家の苦難を淡々と描くこの作品については、今井監督自身、イタリアのネオレアリズモ作品『自転車泥棒』がお手本としている。「キネマ旬報」ベストテン5位。

'51(新星映画=前進座) ㊟今井正 ㊟若佐氏寿 ㊟平田兼三 ㊟宮島義勇 ㊟中尾駿一郎 ㊟植松永吉 ㊟久保一雄 ㊟大木正夫 ㊟河原崎長十郎 ㊟河原崎しづ江 ㊟河原崎国太郎 ㊟中村新右衛門 ㊟木村功 ㊟岸旗江 ㊟飯田蝶子

11 5/10(木)3:00pm 5/19(土)5:00pm 7/3(火)7:00pm

山びこ学校(101分・35mm・白黒)

無着成恭編集の同名の作文集の映画化で、脚色の八木保太郎自身のプロダクションの第1回作。山形市に近接する山間の実在の学校教師たちが教育に取り組む姿が描かれる。本作で目立つ議論の場面は、今井監督によれば「先生たちの熱意みたいなもの」を伝えたい八木の意向に沿ったものだという。「キネマ旬報」ベストテン8位。

'52(八木プロ) ㊟今井正 ㊟無着成恭 ㊟八木保太郎 ㊟伊藤武夫 ㊟川島泰造 ㊟大木正夫 ㊟木村功 ㊟滝沢修 ㊟東野英次郎 ㊟岡田英次 ㊟金子信雄 ㊟和沢昌次 ㊟河崎保 ㊟西村晃 ㊟杉葉子 ㊟北川谷栄 ㊟丹阿彌谷津子

12 5/10(木)7:00pm 5/23(火)3:00pm 6/30(土)11:00am

ひめゆりの塔(127分・35mm・白黒)

沖縄戦で看護に徴用され戦争の犠牲者となった女子学生たち、ひめゆり部隊の悲劇を描き、空前の大ヒットを記録。発足以来、赤字に悩んでいた東映にとって、起死回生の一作となった。「女優さんの憧れの的」(香川京子)だった監督のもとには、多くの有名女優が役を求めて直訴に訪れたという。「キネマ旬報」ベストテン7位。

'53(東映東京) ㊟今井正 ㊟水木洋子 ㊟中尾駿一郎 ㊟久保一雄 ㊟古岡裕也 ㊟津島恵子 ㊟岡田英次 ㊟信欣三 ㊟石島房太郎 ㊟殿山泰司 ㊟河野秋武 ㊟春日俊二 ㊟神田隆 ㊟南川直 ㊟清水元 ㊟香川京子 ㊟関千恵子 ㊟小田切みき ㊟岩崎加根子

13 5/11(金)3:00pm 5/20(日)4:30pm 7/10(火)7:00pm

にごりえ(130分・35mm・白黒)

樋口一葉の短篇小説「十三夜」「大つごもり」「にごりえ」を原作としたオムニバス作品。役者に緊張を強いる簡潔なセットの中で徹底したリハーサルが繰り返され、過酷な状況を生きる女たちの一瞬が捉えられている。物語の舞台となる、東京の下町の言葉に造詣の深い文人・久保田万太郎が脚本の監修者として名を連ねた。「キネマ旬報」ベストテン1位。

'53(文学座=新世紀映画社) ㊟今井正 ㊟樋口一葉 ㊟水木洋子 ㊟井手俊郎 ㊟中尾駿一郎 ㊟平川透微 ㊟伊吹磨 ㊟田村秋子 ㊟丹阿彌谷津子 ㊟久我美子 ㊟中村伸郎 ㊟竜岡晋 ㊟淡島千景 ㊟杉村春子 ㊟賀原夏子 ㊟山村聰

14 5/11(金)7:00pm 7/1(日)11:00am

愛すればこそ(82分・35mm・白黒)

近代映画協会の呼びかけで独立プロ運動支援のために製作されたオムニバス映画。全スタッフ、キャストが無給で参加したという。今井正監督担当の第2話では、東京で働く工員(内藤)が田舎から突然押しかけてきた花嫁(香川)にあたふたとする様子が描かれ、公開当時の「キネマ旬報」評では「3篇中最高の出来」と評価された。

'55(独立映画) ㊟新藤兼人 ㊟山形雄策 ㊟宮島義勇 ㊟中尾駿一郎 ㊟伊藤武夫 ㊟丸茂孝 ㊟川島泰造 ㊟久保一雄 ㊟大木正夫 ㊟第一話「花賣り娘」 ㊟吉村公三郎 ㊟乙羽信子 ㊟町田よし子 ㊟田中筆子 ㊟神田隆 ㊟殿山泰司 ㊟第二話「とびこんだ花嫁」 ㊟今井正 ㊟内藤武敏 ㊟香川京子 ㊟井出忠彦 ㊟高原駿雄 ㊟高橋豊子 ㊟第三話「愛すればこそ」 ㊟山本薩夫 ㊟山田五十鈴 ㊟久我美子 ㊟田口計 ㊟山村聰



今井正監督(1983年)

15 5/12(土)11:00am 5/22(火)6:30pm 7/4(水)3:00pm

ここに泉あり(150分・35mm・白黒)

群馬交響楽団設立までの苦難の実話をロケーション撮影に徹して描いた作品。働く人々や小中学生に美しい音楽を提供しようとする物語は、社会主義リアリズムを念頭に置く当時の独立プロにとっては格好の題材であった。今井監督の生真面目さが確認できる一本。「キネマ旬報」5位。

*55(中央映画)◎今井正◎水木洋子◎中尾駿一郎◎川島泰造◎団伊玖磨◎小林桂樹、岡田英次、岸恵子、成瀬昌彦、加東大介、三井弘次、草笛光子、大滝秀治、福田秀実、椎原邦彦、斎藤雄一、山田耕作

16 5/6(日)2:00pm 6/27(水)7:00pm 7/8(日)5:00pm

由起子(105分・35mm・白黒)

菊田一夫作の同名ラジオ・ドラマを映画化。不運な巡り合わせのために、自分の望む幸福を得られぬ女性(津島)が描かれる。今井監督自身は「あれは菊田さんなりの真剣な『ジェーン・エア』なんです。僕はもつと切実にそれを汲んであげなければいけなかった、逃げちゃいけないんです」と分析している。

*55(中央映画)◎今井正◎菊田一夫◎井手俊郎◎中尾駿一郎◎矢川透◎古岡裕而◎津島恵子、木村功、宇野重吉、関千恵子、野添ひとみ、小沢栄、永井智雄、原保美、村瀬幸子、加藤嘉、中村伸郎、清水将夫

17 5/12(土)4:30pm 5/18(金)7:00pm 6/26(水)3:00pm

真昼の暗黒(124分・35mm・白黒)

現実に起きた強盗殺害事件に関する取調べ、裁判の不当さをえぐり出した作品。封切り当時は、有罪を告げられた四人の若者が上告していた時期であったが、監督は橋本忍との綿密な調査に基づき、彼らが無罪であるとのシナリオで映画化に臨んだ。脚本完成の段階で、最高裁から製作を中止するように圧力がかけられたという。「キネマ旬報」ベストテン1位。

*56(現代ぶろだくしょん)◎今井正◎正木ひろし◎橋本忍◎中尾駿一郎◎久保一雄◎伊福部昭◎草薙幸二郎、松山照夫、矢野宣、牧田正嗣、小林寛、左幸子、内藤武敏、山村聰、菅井一郎、夏川静江、飯田蝶子、北林谷栄、殿山泰司

18 5/13(日)11:00am 5/24(水)7:00pm 7/3(水)3:00pm

米(118分・35mm・カラー)

今井監督にとって初めてのカラー作品。撮影については全てを中尾駿一郎に任せたそうだが、舞台になった霞ヶ浦や湖岸に広がる田園風景が美しく撮られ、そこに生きる人々の貧しさや苦しさを一層浮き立たせている。多くの人物が点描されているなかでも、とりわけ望月優子演じる母の姿が強烈な印象を残す。この年の「キネマ旬報」ベストテン上位は本作(1位)と「純愛物語」(2位)が独占した。

*57(東映東京)◎今井正◎八木保太郎◎中尾駿一郎◎進藤誠吾◎芥川也寸志◎江原真二郎、中村雅子、望月優子、木村功、中原ひとみ、岡田敏子、南原伸二、藤里まゆみ、日野明子、加藤嘉

19 5/13(日)2:00pm 5/23(水)7:00pm 7/5(水)3:00pm

純愛物語(130分・35mm・カラー)

今井監督にとって初めてのワイド・スクリーン作品。水木洋子によれば、『また逢う日まで』の姉妹篇として「戦後と青春」を描こうとするものだったが、当時、改めて注視されていた原水爆問題を反映して、不良少年と少女の純愛物語に原爆後遺症の問題が絡められている。少女(中原)の鼻から流れ落ちる一筋の血が伝えるのは、原爆への怒りであろう。「キネマ旬報」ベストテン2位。

*57(東映東京)◎今井正◎水木洋子◎中尾駿一郎◎進藤誠吾◎大木正夫◎江原真二郎、中原ひとみ、岡田英次、木村功、加藤嘉、宮口精二、東野英治郎、楠田薫、小林トシ子



青い山脈

20 5/13(日)5:00pm 7/4(水)7:00pm 7/10(水)3:00pm

夜の鼓(95分・35mm・白黒)

近松門左衛門の「堀川波鼓」の映画化。下級武士(三国)が、妻(有馬)の不義の噂を確かめることを余儀なくされ、それが悲劇へつながっていく。リアリズムに徹する今井監督は、脚本の時代考証が気に入り、最終的には自身の調査に基づいて少しずつ手直ししながら撮影を進めたという。「キネマ旬報」ベストテン6位。

*58(現代ぶろだくしょん)◎今井正◎近松門左衛門◎橋本忍、新藤兼人◎中尾駿一郎◎水谷浩◎伊福部昭◎三国連太郎、有馬稲子、森雅之、日高澄子、雪代敬子、奈良岡朋子、夏川静江、中村萬之助、金子信雄、東野英治郎、菅井一郎、加藤嘉、殿山泰司

21 5/15(火)3:00pm 6/30(土)4:30pm 7/6(金)7:00pm

キクとイサム(117分・35mm・白黒)

占領時代の文字通りの落とし子と言える、混血児問題をテーマとした作品。磐梯山麓の農村で祖母と暮らす混血児の姉弟が描かれるが、今井監督は彼らを客観視できるように、クロス・アップの使用を避けている。また主人公が、いわゆる「良い子」ではないのも本作の特長。祖母を熱演して絶賛を集めた北林の実年齢は49歳であった。「キネマ旬報」ベストテン1位。

*59(大東映画)◎今井正◎水木洋子◎中尾駿一郎◎江口準次◎大木正夫◎北林谷栄、長岡輝子、高橋恵美子、奥の山ジョージ、清村耕次、朝比奈愛子、三国連太郎、三井弘次、織田政雄

22 5/16(水)7:00pm 6/28(水)3:00pm 7/8(日)2:00pm

白い崖(122分・35mm・白黒)

アイラ・レヴィンの小説のアメリカでの映画化「赤い崖」の翻案作品。自分の野望の達成のためには手段を選ばぬ若者の一時的成功と破滅が描かれる。公開当時の「キネマ旬報」評では、偶然性だけで成り立っている物語展開が論難されているが、これは今井監督のリアリズムへの期待がもたらした反応と言える。これら当時の評価からも、異色の今井作品であったことがわかる。

*60(東映東京)◎今井正◎菊島隆三◎中尾駿一郎◎進藤誠吾◎芥川也寸志◎木村功、進藤英太郎、有馬稲子、佐久間良子、中原ひとみ、小沢栄太郎、藤間紫、加藤嘉、山形勲、浦辺糸子、小川虎之助

23 5/16(水)3:00pm 7/1(日)5:00pm 7/7(土)2:00pm

あれが港の灯だ(102分・35mm・白黒)

当時の韓国の李承晩大統領が朝鮮半島と日本の海上に設定した「李ライン」、これを越えて操業する日本漁船は例外なく拿捕されるとの政策が実行されていたのだが、この大きな政治問題を背景として、身を隠しながら生きなければならぬ一人の在日朝鮮人漁師の苦悩が描かれる。彼にとって、たどりつくべき「港の灯」は、どこにあるのか? 「キネマ旬報」ベストテン7位。

*61(東映東京)◎今井正◎水木洋子◎飯村雅彦◎下沢敬悟◎林光◎江原真二郎、高津住男、岡本四郎、安田千永子、岸田今日子、山村聰、中山昭二、清川虹子、長谷川裕見子、村瀬幸子、加藤嘉、木村功

24 5/17(木)3:00pm 6/30(土)2:00pm 7/5(水)7:00pm

にっぽんのお婆あちゃん(94分・35mm・白黒)

浅草見物を冥土の土産にと心に決めて仲見世にやってきた二人の老婆(北林とミヤコ)の出会いと一日の描写を通して、老人問題を取り上げた作品。主役から脇役まで大挙出演している名優たちの演技が見もの。本作のために設立されたM.I.I.プロの名は、脚本、監督、製作(市川喜一)の各人の頭文字から取った。「キネマ旬報」ベストテン9位。

*62(M.I.I.プロ)◎今井正◎水木洋子◎中尾駿一郎◎江口準次◎渡辺宙明◎北林谷栄、ミヤコ蝶々、田村高廣、伴淳三郎、渡辺文雄、瀧美清、小沢昭一、三木のり平、木村功、十朱幸代、関千恵子、五月女マリ、市原悦子、沢村貞子、飯田蝶子、浦辺糸子、原泉、村瀬幸子



また逢う日まで

小ホール(地下1階)

京橋映画小劇場No.24

アンコール特集:2011年度上映作品より Back by Popular Demand: From the Programs of 2011 6月1日(金)〜6月17日(日)

*金曜日・土曜日・日曜日のみ上映
定員=151名(各回入替制) 発券=地下1階受付
料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/
小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、
キャンパスメンバーズは無料

*開映後の入場はできません。
*観覧券は当日・当該回のみ有効です。
*発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
*発券は各回1名につき1枚のみです。
*詳細は当該チラシをご覧ください。

展示室(7階)

企画展

ロードショーとスクリーン 外国映画ブームの時代

LET'S GO TO THE MOVIES!
Celebrating the 50th Anniversary of Foreign Film Importer-Distributors Association of Japan
共催:一般社団法人外国映画輸入配給協会

4月11日(金)〜7月29日(日)

*月曜日、6月18日(月)〜25日(月)は休室

外国映画輸入配給協会の創立50周年を記念して、日本で大ヒットを記録した様々な作品を通じて、また華やかな大都市の映画街の様子を再現することで、外国映画配給の黄金時代を振り返ります。
*詳細は当該チラシをご覧ください。



日比谷映画劇場「007は二度死ぬ」(1967年)

【常設展】企画展に併設

NFCコレクションでみる

日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film From the NFC Non-film Collection

映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年フィルムセンターが収集してきた多彩なコレクション(ポスター、スチル写真、雑誌、製作資料、業界資料、カメラなど機械類、映画人の遺品、映像など)によってたどりま。日本映画史の新しい学びの場として、小学生から大人まで幅広い世代の方々を対象とする内容になっています。(Captions in Japanese and English)

開室時間=午前11時〜午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/
大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳
未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATバス
ポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。
* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

研究員による常設展ギャラリートーク
毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)
今月の開催日:5月5日

生誕百年 映画監督 今井正(1)
Tadashi Imai Retrospective at his Centenary [Part1]

月	火	水	木	金	土	日	
4月11日(水)~5月4日(金)祝 よみがえる日本映画 vol.4 [大映篇] —映画保存のための特別事業費による					1 沼津兵學校 11:00am (81分)	4 怒りの海 11:00am (87分)	
					9 また逢う日まで 2:00pm (110分)	6 由起子 2:00pm (105分)	
					3 望樓の決死隊 5:00pm (95分)	6 民衆の敵 5:00pm (83分)	
5月	7 人生とんぼ返り 3:00pm (80分)	9 また逢う日まで 3:00pm (110分)	11 山びこ学校 3:00pm (101分)	13 にごりえ 3:00pm (130分)	5 愛と誓ひ 2:30pm (74分)	19 純愛物語 2:00pm (130分)	
	8 青い山脈 6:00pm (92分) 續青い山脈 (82分)	10 どっこい生きてる 7:00pm (102分)	12 ひめゆりの塔 7:00pm (127分)	14 愛すればこそ 7:00pm (82分)	17 真昼の暗黒 4:30pm (124分)	20 夜の鼓 5:00pm (95分)	
						8 青い山脈 11:00am (92分) 續青い山脈 (82分)	10 どっこい生きてる 11:00am (102分)
	14 キクとイサム 3:00pm (117分)	23 あれが港の灯だ 3:00pm (102分)	24 にっぽんのお婆あちゃん 3:00pm (94分)	3 望樓の決死隊 3:00pm (95分)	2 多甚古村 3:00pm (63分)	7 人生とんぼ返り 2:00pm (80分)	
	1 沼津兵學校 7:00pm (81分)	22 白い崖 7:00pm (122分)	4 怒りの海 7:00pm (87分)	17 真昼の暗黒 7:00pm (124分)	11 山びこ学校 5:00pm (101分)	13 にごりえ 4:30pm (130分)	
21 民衆の敵 3:00pm (83分)	12 ひめゆりの塔 3:00pm (127分)	5 愛と誓ひ 3:00pm (74分)	5月25日(金)~6月16日(土) EUフィルムデイズ2012 *6月18日(月)~6月25日(月)は休館 *6月17日(日)は大ホールでの上映はありません。			15 ここに泉あり 6:30pm (150分)	
6月						12 ひめゆりの塔 11:00am (127分)	14 愛すればこそ 11:00am (82分)
	17 真昼の暗黒 3:00pm (124分)	8 青い山脈 3:00pm (92分) 續青い山脈 (82分)	22 白い崖 3:00pm (122分)	10 どっこい生きてる 3:00pm (102分)	24 にっぽんのお婆あちゃん 2:00pm (94分)	1 沼津兵學校 2:00pm (81分)	
	9 また逢う日まで 7:00pm (110分)	16 由起子 7:00pm (105分)	6 民衆の敵 7:00pm (83分)	2 多甚古村 7:00pm (63分)	21 キクとイサム 4:30pm (117分)	23 あれが港の灯だ 5:00pm (102分)	
7月						5 愛と誓ひ 11:00am (74分)	3 望樓の決死隊 11:00am (95分)
	18 米 3:00pm (118分)	15 ここに泉あり 3:00pm (150分)	19 純愛物語 3:00pm (130分)	4 怒りの海 3:00pm (87分)	23 あれが港の灯だ 2:00pm (102分)	22 白い崖 2:00pm (122分)	
	11 山びこ学校 7:00pm (101分)	20 夜の鼓 7:00pm (95分)	24 にっぽんのお婆あちゃん 7:00pm (94分)	21 キクとイサム 7:00pm (117分)	7 人生とんぼ返り 5:00pm (80分)	16 由起子 5:00pm (105分)	
9 夜の鼓 3:00pm (95分)	7月11日(水)~7月29日(日) ロードショーとスクリーン ブームを呼んだ外国映画					13 にごりえ 7:00pm (130分)	

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

図書室カレンダー

赤字は休室日

5月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

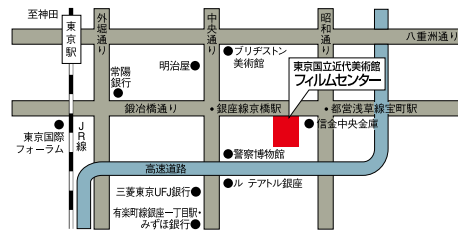
図書室(4階)

開室=火曜日~土曜日(午後0時30分~午後6時30分) / 入室は午後6時まで 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区区橋3-7-6

交通:

- 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- JR東武線八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

